

防犯ボランティア団体をつなぐコミュニケーション情報紙 おつかれさまです!

愛と義の街「米沢」を安心・安全な街にするために! 防犯・交通米沢少年隊(米沢市)

現代の子ども達は、集団活動での達成感や仲間意識を醸成する機会が少なく、豊かな心や適切な人間関係が作れずに心の闇に悩み非行に走ることがあると指摘されています。本隊は、平成12年に全国で少年の凶悪事件が相次いで発生したことを受けて、防犯・交通ボランティア活動を通じて地域の安全・安心の確保と少年の健全育成を図ることを目的として結成されました。

本隊は、米沢市防犯協会青少年環境浄化部に所属し、教員退職者などの大人が指導員となり、隊員の防犯意識の高揚を図るとともに自主性を重んじた活動を行い、次代の防犯リーダーを担う隊員を育成しています。現在、中学校経由で募集した隊員(米沢市内の中学生)54名と指導員(大人)5名で活動をしています。



活動のモットーは「輝いて奉仕活動!」若い感性でフレッシュな活動



本隊の大きな特長は、隊員が中学生であり、子どもの感性を活かして活動していることです。隊員の意見を積極的に取り入れ、指導員の助言指導を仰ぎながら、米沢市防犯協会や米沢地区交通安全協会と連携して活動しています。また、犯罪の起きにくい街づくりに向けては、綺麗な街並みの維持が重要であり、催事に合わせて市内の道路や催事会場周辺の清掃活動を実施しています。

活動に際しては、指導員、防犯協会等と協働して、若い世代、現役世代、高齢世代の世代間交流に配慮した活動を実施しています。郷土行事にも積極的に参加しており、「上杉雪灯籠まつり」では、日頃活動を共にしている防犯協会員とともに雪灯籠3基と雪ぼんぼり100個を製作し、郷土行事も継承しています。

そして、毎年12月初旬に開催する「輝きの心 伝承式」で、2年間の活動を終了した3年生が離隊し、先輩隊員のお下がりの隊員服を身につけた1年生が入隊します。伝承式では、本隊の発足経緯、歴史、1年間の活動を振り返りながら、活動への意欲を含めて後輩に継承しています。本隊は、学校制度に合わせて毎年隊員が入れ替わり、フレッシュな活動が継続されています。

本隊の活動は、米沢市の安全・安心の確保につながっているだけでなく、隊員は、活動を通じて社会貢献の意義を体得し、地域の方々と世代を超えたつながりを持つ中で、人と関わることの大切さや自分の行動に責任を持つことなどを学んで大きく成長します。これからも、愛と義の街「米沢」を安心・安全な街にするために、若い感性を活かした活動を続けていきます。

(文～防犯交通少年隊事務局 米沢警察署生活安全課 清野典子)

【編集後記】創刊号いかがでしたでしょうか。「おつかれさまです!」は、皆様の日頃の防犯ボランティア活動への感謝の意を込めて名付けました。この情報紙が県内の防犯ボランティア活動の活性化と団体同士の連携強化につながり、安全・安心の「輪」が更に広がることを期待して、これから定期的に発行させていただきたいと思っております。情報紙への御意見・御感想がございましたら、警察本部生活安全企画課又は公益社団法人山形県防犯協会連合会にお寄せください。なお、防犯・交通米沢少年隊は、日頃の活動が評価され、本年10月24日に東京都内で開催される警察庁主催の「防犯ボランティアフォーラム2015」で東北・北海道代表として活動発表を行うことになりました。おめでとうございます!